

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP 公開 (  可 ・  否 )

区 分	1.森づくり <u>4.森と暮らし</u>	2.森の恵み 5.森の文化財	3.森と技 6.森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 年中行事	(ふりがな) ねんちゅうぎょうじ	
地域独特の呼び方	—		
タイトル	成木責め		
伝承地域	相双地方		
由 来	<small>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられたか)</small> 実をつける樹木に豊かな実りを強要させる呪術 (まじない)。県下全般に見られる小正月行事であるが、近年行なわれなくなった。		
内 容	<small>(内容とともに、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</small> 小正月 1 月 14 日に行われる。14 日の夕方家人が二人でイナボ餅と鉦や斧を持って、柿や梅など果実のなる木のもとに行く。その樹木に向かって鉦などを振り上げながら、「なり申すか、なり申さねば伐り申す」と声高に唱える。もう一人が樹木の側になって、「なり申す、なり申す」と約束する。こうした問答のあと、鉦などでその樹木の幹に傷をつけイナボ餅を切り口に挟む。(原町市鹿島町) 浪江町でもナリモウスと称し小正月に行く。果樹一本一本に斧で傷をつけ、「なり申すかなり申さないか、なり申さなければ伐り申す」と三度唱え、木に代わって「枝のさけるほどなり申す」と自問自答して切り口に餅を押し込む。浪江町津島では家の主人が実のなる柿や栗の木を縄で縛り、「なるかなんねえか、ならずば切っと」と唱え鉦で傷をつける。もう一人が「なり申す、なり申す」とそれに応え、鉦でつけた傷口に餅を挟む。		
文化財等の指定状況			
問い合わせ先			

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名（ふりがな）		※顔写真ありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。（貼りつけずに名前がわかるようにして同封ください。）
	性別・年齢	男 ・ 女	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年生	
	住所・電話	〒 電話	
団体	職業		
	団体名（ふりがな）		
	代表者氏名（ふりがな）		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先	電話	

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

成木責め



(川内村教育委員会)

ナリモウス



(浪江町教育委員会)

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを1部ご恵与ください。